

コース説明

東洋史コース



ようこそ東洋史コースへ

今日の内容



- * 東洋史とは？
- * 東洋史学の領域
- * 東洋史コースで学ぶ
- * 大正大学東洋史の特色
- * 東洋史コースの教員
- * 東洋史コースの学び方
- * 東洋史コースの授業
- * 東洋史コースの卒論テーマ
- * 卒業後の進路

東洋史とは？

* 高校の歴史

⇒ 日本史・世界史

⇒ 世界史(ヨーロッパ・アジア・アメリカの歴史など)

■ 歴史学 ⇒ 日本史学・東洋史学・西洋史学

■ 東洋史 = 外国史

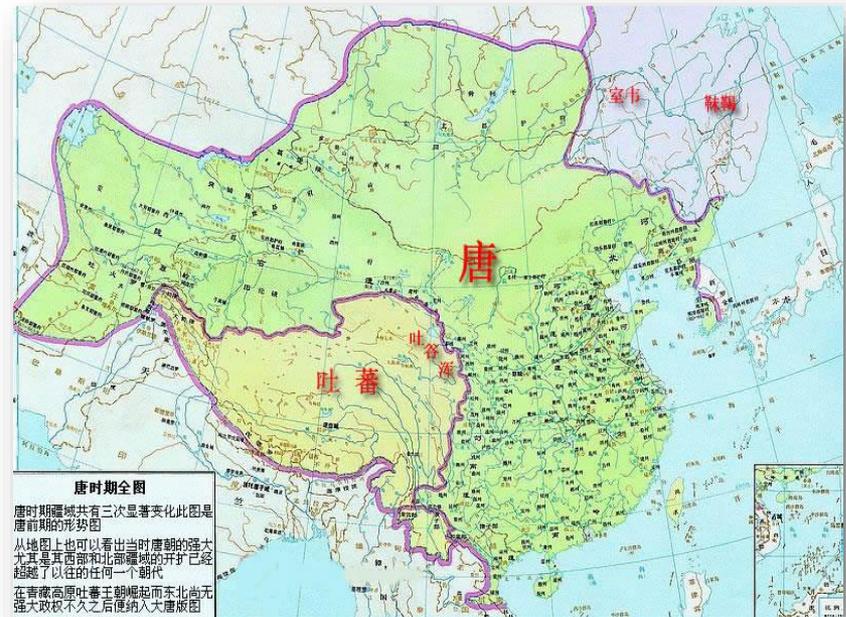
■ 歴史とは



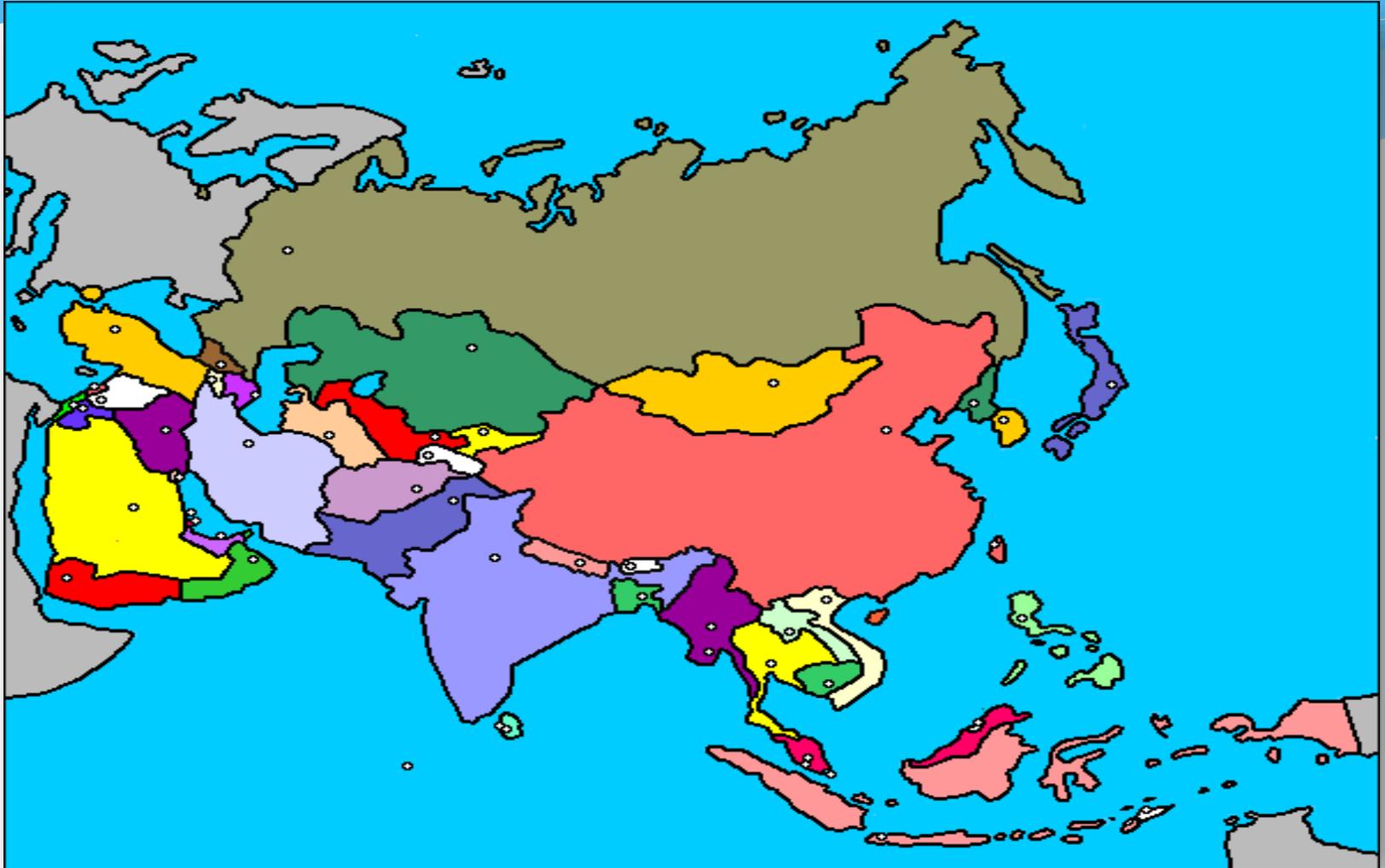
東洋史学の領域

* 中国史 ⇒ 殷王朝・周王朝・春秋時代・戦国時代
秦漢時代・三国時代・南北朝時代・
隋唐時代.....

- * 朝鮮史
- * 中央アジア史
- * 西アジア史
- * 東南アジア史



東洋史の領域・アジア



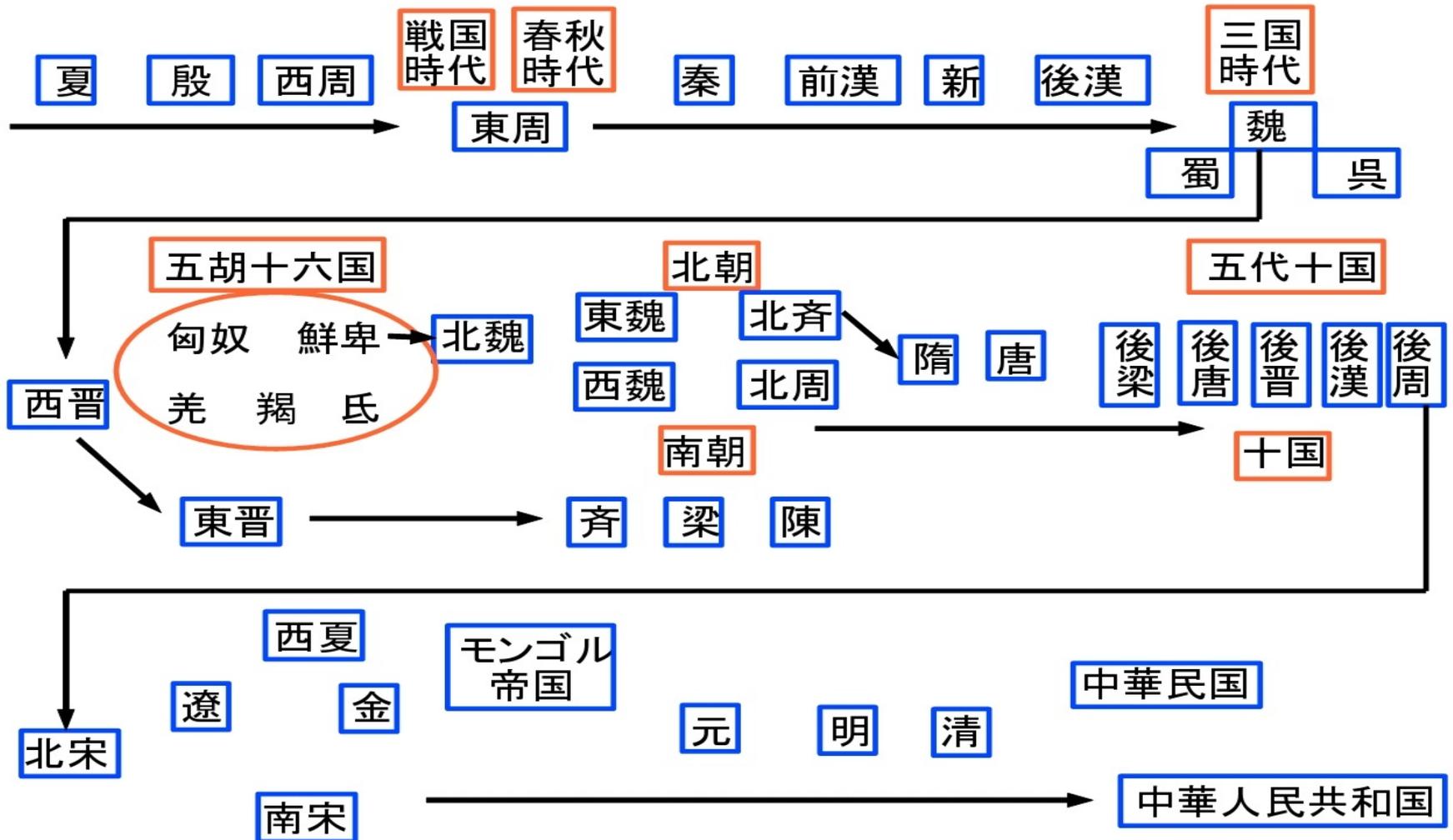
大正大学・東洋史コースで学ぶ

- * 「覚える歴史」から「考える歴史」へ。
- * 高校までの歴史が「覚える歴史」であるならば、大学で学ぶのは「考える歴史」です。「生きた史料」を読み解き、歴史的事実の真偽を検証する。新たな史料の発見によってこれまで信じられていた歴史が覆ることもあります。歴史とは、大変スリリングな学問なのです。東洋史コースでは、中国を中心に、アジアの諸地域の歴史を総合的に学びます。中国の歴代王朝・諸国が行った政治経済、軍事、法制の歴史、あるいはその背景、さらにそこに生まれた思想・文化までも、幅広く学んでいきます。

アドミッション・ポリシー(AP)

- * 1「日本史」「世界史」など歴史に興味がある人
- * 2疑問に対して、調べることや考えることが好きな人
- * 3中国を中心とするアジアに関する知識・興味のある人

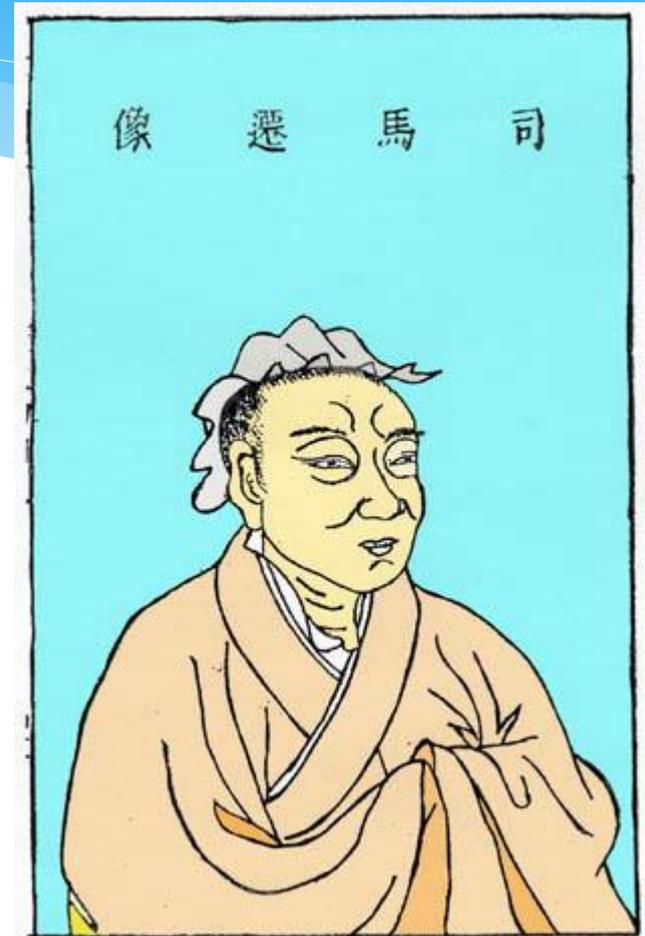
中国王朝の流れ



正史の編纂事業

- * 司馬遷『史記』
- * 前王朝の記録整理
 - ⇒ 歴史叙述
 - ⇒ 断代史
 - ⇒ 王朝史の編纂
- * 紀伝体の成立
- * 二十四史の編纂

- 修史の伝統の継続
- 豊富な歴史記録の存在



大正大学・東洋史コース

歴史学と他者理解

- * **歴史の体系的な知識**

- ⇒ 現代社会に必要な歴史的素養
- ⇒ 社会的責任への意識・行動力

- * **歴史というアプローチから他者理解の術を探る**

本コースの学びは、大きな成長を促してくれる

大正大学東洋史コースの特色

- * 史学科(現歴史学科) 創立92年の伝統
- * **実証史学 = 史料の重視**
- * 中国史を中心とした周辺社会の歴史
- * 考古学・古代史から近現代史
- * 政治史・軍事外交史・社会経済史
- * 思想史・文化史・環境史
- * **仏教史**
- * 大正大学東洋史研究会



東洋史コースの教員

- 小林 伸二 【教授】
東洋史学(中国古代史)
- 宮寄 洋一 【教授】
東洋史学(中国近世史)
- 新藤 篤史 【助教】
東洋史学(内陸アジア史)

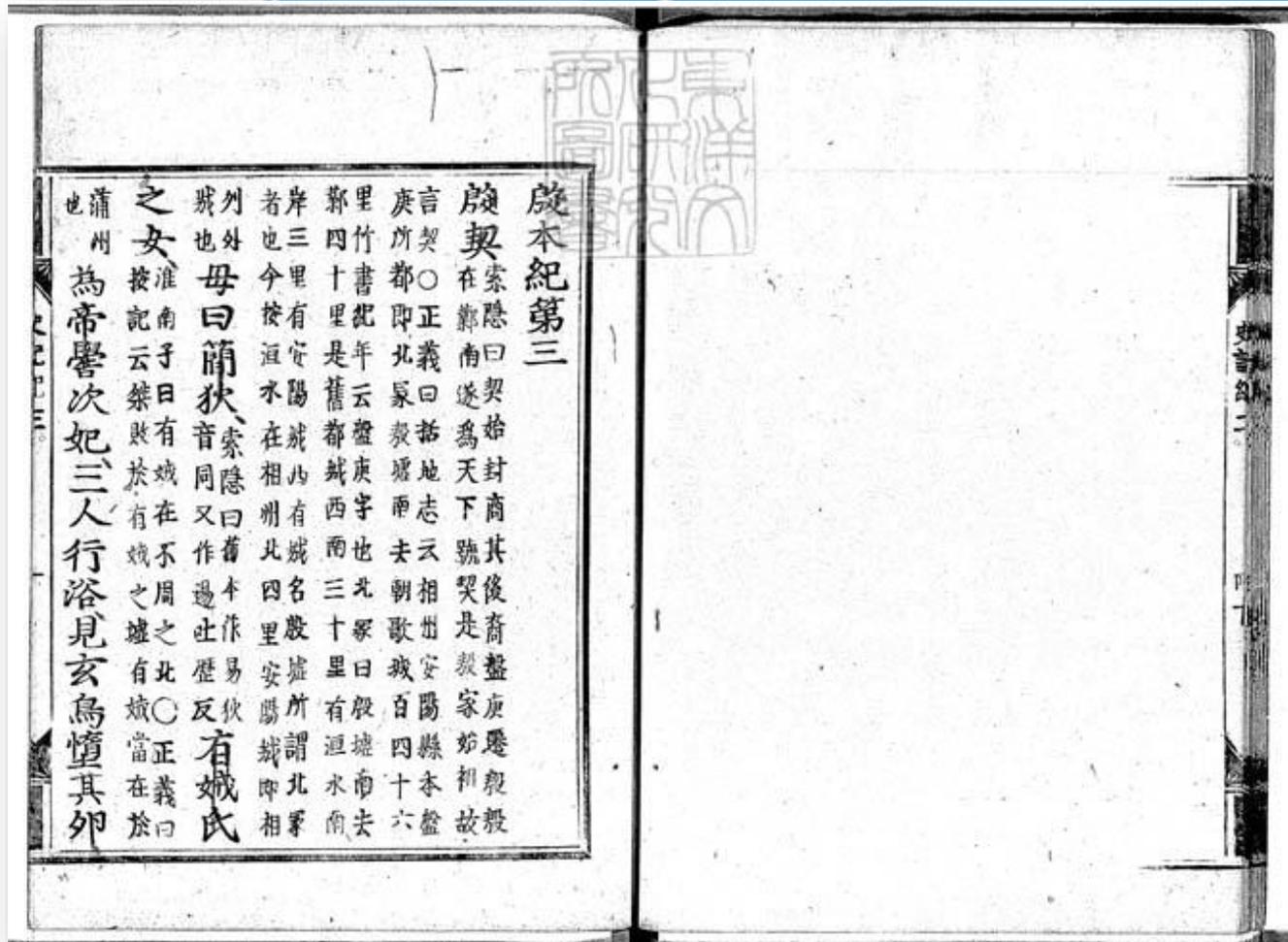
東洋史コースの学び方①

史料を読む

- * 漢文史料
- * 漢和辞典

- 「史料を読む」 ⇒ 「歴史事実の確認」
- 「史料を精読する」 ⇒ 「あらたな事実を確認」

司馬遷『史記』殷本紀



殷本紀第三

殷契 索隱曰契始封商其後裔盤庚遷殷故在鄭南遂為天下號契是殷家始初故言契○正義曰括地志云相州安陽縣本盤庚所都即北冢表墟而去朝歌城百四十六里竹書紀年云盤庚字也北冢曰殷墟而去鄴四十里是舊都城西而三十里有洹水南岸三里有安陽城北有城名殷墟所謂北冢者也今按洹水在相州北四里安陽城即相列外
母曰簡狄 索隱曰舊本作易狄有娥氏
之女 淮南子曰有娥在不周之北○正義曰按記云桀敗於有娥之墟有娥當在於蒲州
為帝嚳次妃三人行浴見玄鳥墮其卵也

『史記』刺客列傳

曹沫者，魯人也，以勇力事魯莊公。莊公好力。曹沫為魯將，與齊戰，三敗北。魯莊公懼，乃獻遂邑之地以和。猶復以為將。

齊桓公許與魯會于柯而盟。桓公與莊公既盟於壇上，曹沫執七首劫齊桓公，桓公左右莫敢動，而問曰：“子將何欲？”曹沫曰：“齊疆魯弱，而大國侵魯亦甚矣。今魯城壞即壓齊境，君其圖之。”桓公乃許盡歸魯之侵地。既已言，曹沫投其七首，下壇，北面就群臣之位，顏色不變，辭令如故。桓公怒，欲倍其約。管仲曰：“不可。夫貪小利以自快，棄信於諸侯，失天下之援，不如與之。”於是桓公乃遂割魯侵地，曹沫三戰所亡地盡復予魯。

東洋史コースの学び方②

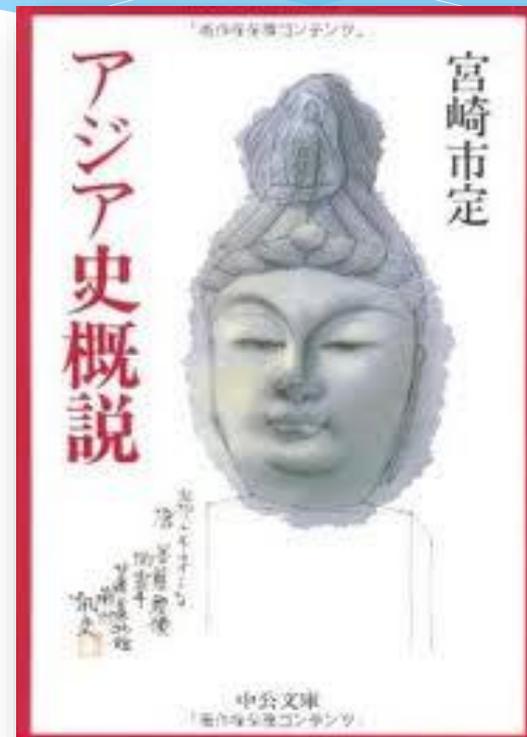
先行研究を知る

- * 概説書
- * 学術書・学術論文
- * 日本書・中国書

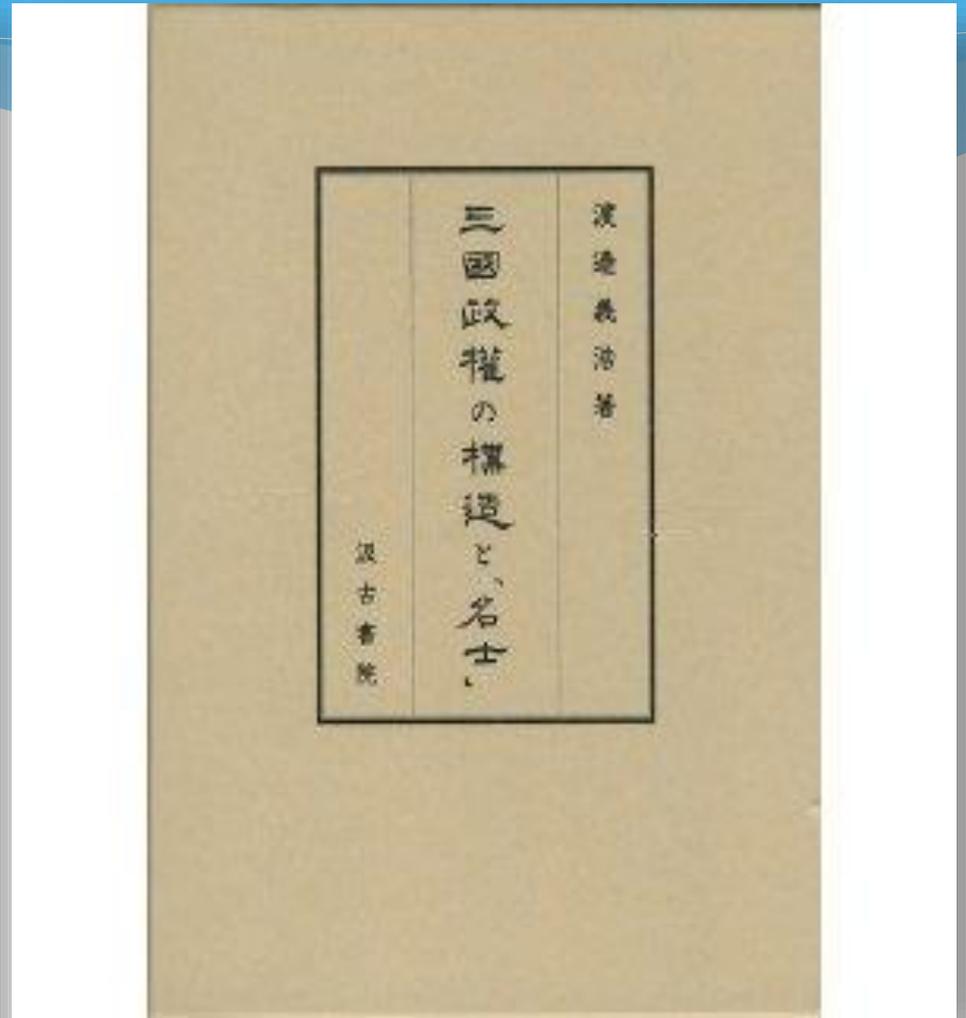
■「先行研究を知る」 ⇒ 「研究を理解する」

■「先行研究を整理する」 ⇒ 「新たな視点の探求」

東洋史の概説書



東洋史の学術書



論文例

春秋時代の国君即位 —『春秋』の史料性—

小林伸二

はじめに

『春秋』は魯国の年代記として、春秋時代史を研究するうえで重要な文献と理解されてきた(1)。簡潔な事項の列挙のなかには、赴告による当該時代の国際社会の動向が見出せ、貴重な情報を多く含んでいる。ただ、『春秋』の記述は相当練り上げた表現であって、原則に基づいて厳格に規定された書式の存在を窺わせる(2)。このため『春秋』は古くから儒学の聖典と見做され、孔子の筆削を受け、編集者の批判意志を読み取る経学的理解の伝統もある(3)。しかし、魯国史としての『春秋』では、魯国の記録の立場がより重視されるべきであり、魯国の主観的な見識を尊重する態度が求められよう。魯国史『春秋』の存在意義はここに普遍的なものとなるであろう。

ところで、近年この『春秋』に関し、戦国中期の前四世紀にはじまる踰年称元法による在位年代が使われている点に着目して、成書年を設定する意見が提出された。『春秋』の編纂時期のみならず、文献自体が踰年称元法を初めて採用した威宣王が齊の朝廷で、その正統性を主張するために作られたと見做すなど、論点は多岐にわたる(4)。重要な議論が多く含まれ、今後の展開が求められている。

(『佐藤成順博士古稀記念論文集東洋の歴史と文化』所収、山喜房佛書林、2004年)

東洋史の學術書・中国書



『司馬遷論稿』

編著者：聶石樵 著

出版社：中華書局

平裝 ページ：349

出版年月：2010年

本書内容包括：司馬遷的生平，家世淵源，司馬遷的思想，經學思想淵源，偉大著述《史記》體例之淵源，司馬遷筆下的主要人物，孔子、商鞅、信陵君和平原君等。

東洋史コースの学び方③

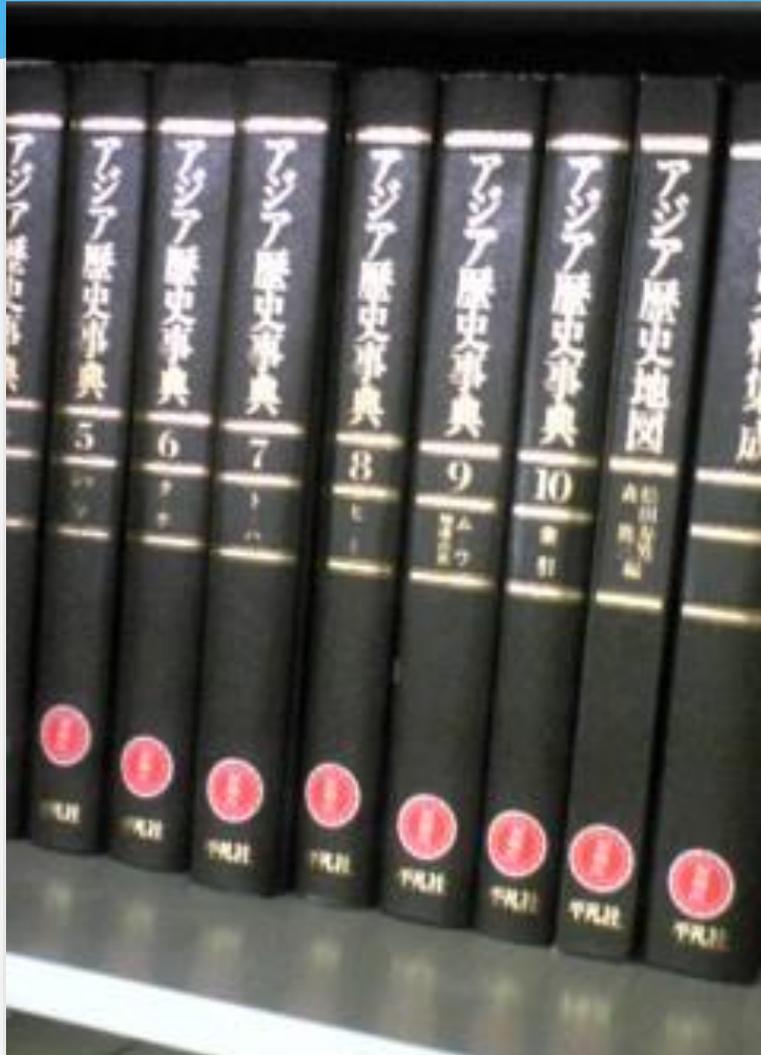
工具類を活用する

- * 歴史地図
- * 歴史辞典
- * 中国語辞書
- * インターネット

■「工具類を使いこなす」 ⇒ 「情報の収集」

■「情報を整理する」 ⇒ 「情報処理能力の養成」

アジア歴史事典



アジア歴史事典 / 平凡社[編]

新装復刊版 出版者 東京：平凡社

出版年 1984. 12冊 補遺, 付表 索引

昭和34-37年刊の新装復刊

東洋史コースの学び方④

成果を発信する

「自分の意見を発表する」
「コミュニケーション能力の養成」

プレゼン
テーション

レポート

論文作成



東洋史コースの授業

1年

- 歴史基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ 東洋史概説 基礎資料学
- 中国の歴史書 東洋文献講読A 歴史学入門

2年

- 東洋文献講読B
- 東洋史基礎研究(基礎ゼミⅢ・Ⅳ)

3年

- 東洋史特講 東洋史特殊研究
- 専門演習A・B

4年

- 応用研究A・B
- 卒業論文



東洋史コースの授業風景



- * 歴史基礎ゼミナール I
(東洋史1)
金曜3時限・小林ゼミ

歴史基礎ゼミナール I (東洋史1) プレゼンテーション



東京国立博物館参観



新入生歓迎会



大正大学東洋史研究会主催 合同卒論中間報告会



大正大学東洋史研究会主催 懇親会



箱根ゼミ合宿



東洋史コースゼミ合宿 筑波山



自主ゼミ(勉強会)など

- * ■ 中国語講座 = 中国語初級・中級
- * ■ 漢文講読講座 = 初級漢文(『左伝』講読)
- * ■ 朝の論語読書会 = 『論語』に親しむ
- * ■ 個別相談時間 = 事前学習・事後学習相談・その他

東洋史コースの卒論テーマ

- * 春秋時代の軍事と都市
- * 漢王朝の対外政策
- * 三国時代の戦乱と社会
- * 魏晋南北朝の仏教
- * 隋唐代の婚姻
- * 宋代の都市
- * 明代の軍政
- * 光緒朝期の宮中動向
- * 清代の満州族
- * 毛沢東について



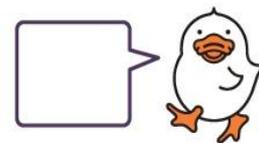
卒業後の進路

本学大学院進学(文学研究科史学専攻)

教員志望

公務員志望

一般企業(医薬・福祉・流通・IT・ホテルリゾート)



みなさんの入学をお待ちしています



東洋史コース一同

